

リニア中央新幹線 水文観測地点（1か所）で 表流水が確認できなくなった旨の報告について

11月19日、JR東海より、南木曽町内のリニア中央新幹線水文観測モニタリング地点に関する表流水状況について報告がありました。

● JR東海の報告の概要

- ・ 11月19日の定期(月1回)水文観測において、表流水(沢水)のモニタリング地点の1か所での流量がゼロであることを確認した。
- ・ 当該地点は、水文調査モニタリング地点の中で広瀬工区坑口から最も近い地点である。また、渇水期には毎年流量が少なくなる傾向の沢であるが、観測を開始した2018年以降にゼロになったことはない。
- ・ 当該地点は、流域面積が小さく、降雨の影響を受けやすい地点と考えられる。また、トンネルと並行する沢であるため、工事の影響は否定できないが、現時点で沢水が確認できなくなった原因は特定できない。
- ・ なお、現時点で当該地点の沢水利用はなく、周辺住民からの申し出や苦情はない。
- ・ 引き続き水文観測を継続し、経過観察を行う。

● 町の対応状況

- ・ 町では報告を受け本日(20日)午前に関地へ行き、JR東海の報告どおり当該地点で沢水がないことを確認した。
- ・ 現時点で沢水利用はなく、住民生活への影響はないと思われるが、地域の役員を通じて確認している。
- ・ 当該地点は、流域面積が小さく渇水期には毎年流量が少なくなる傾向の沢であり、最近はずとまった降雨もないことから、今回の原因が工事によるものか特定できないと考えている。
- ・ 町として、発注者(鉄道・運輸機構)に対し、引き続き経過観察を行い状況の把握に努めることを要請した。

● 今後の対応について

- ・ 現在、当該沢水の利用有無など、地元や住民への影響を再度確認する。
- ・ 今後の降雨や降雪で沢水が回復することも見込まれることから、引き続き水文観測を継続し、経過を注視します。